

CMI 株式会社

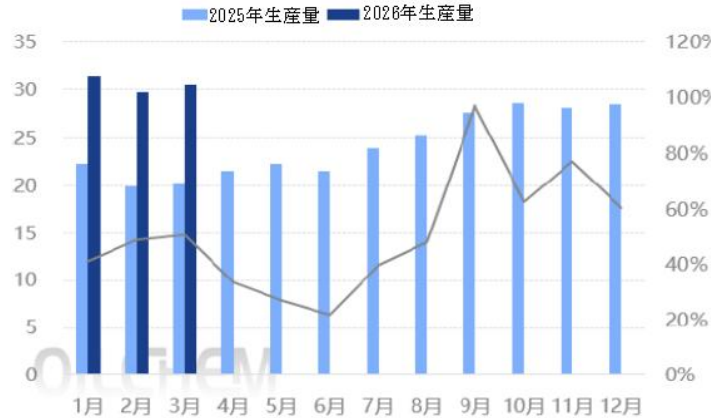
横浜市鶴見区鶴見中央2-12-30-105

TEL: 045-717-8575 FAX: 045-717~8683

中国の負極材料市場の動向

2026年3月、中国の負極材料市場の生産コストが上昇した一方、販売価格は横ばいで推移した。国内の石油コークス供給の逼迫に加え、中東情勢の緊迫化が原油及び石油コークスの物流に影響を及ぼし、石油コークスとニードルコークスの価格が上昇した。その結果、負極材企業の製造コストが増大し、利益がさらに圧迫される形となった。

負極材業界全体の稼働率は回復傾向にあり、3月の生産量は前月比6%増の30.57万トンに達した。広東凱金新エネルギー(Kaijin)、湖南中科星城(Shinzoom)などの大手企業は受注が好調でフル稼働を維持しており、中小企業の稼働率も底打ちしている。各社による生産能力の拡大も加速している。石家荘尚太科技(Shangtai)は山西省で年産20万トン規模の新工場の建設を急いでおり、上海璞泰来新エネルギー(Putailai)はマレーシアで年産5万トンの拠点を計画している。融捷股份(Youngy)も甘肅省蘭州市での年産5万トンの人造負極材プロジェクトを発表した。加えて、貝特瑞新材料集団(BTR)や凱金新エネルギーなどのトップ企業による「生産工程の一体化(垂直統合)」が進んだことから、業界の市場集中度はさらに高まっている。



出典：隆衆資訊

図1. 月別の負極材料生産量の推移 (2025年1月~2026年3月)

3月のリチウムイオン電池用負極材料の平均価格は、前月比横這いの33,100元/トン(約76.99万円/トン、1元≒23.26円)となった。グレード別では、ハイエンド製品が42,000~65,000元/トン(97.69~151.19万円/トン)、ミドルレンジ製品が23,000~32,000元/トン(53.50~74.43万円/トン)、ローエンド製品が17,000~23,000元/トン(39.54~53.50万円/トン)で推移した。なお、図2は人造黒鉛および天然黒鉛負極材の価格推移を示している。

CMI 株式会社

横浜市鶴見区鶴見中央2-12-30-105

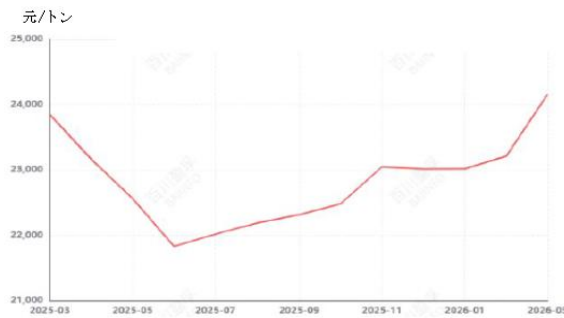
TEL: 045-717-8575 FAX: 045-717~8683



出典：百川盈孚 (BAIINFO)

図2. 人造黒鉛負極材と天然黒鉛負極材の価格推移 (2025年3月~2026年3月)

3月の負極材料の平均コストは約24,157元/トン(56.19万円/トン)となり、前月から945元/トン(2.20万円/トン)上昇し、上昇幅は4.07%であった。原料である石油コークスおよびニードルコークスの価格がともに上昇したほか、黒鉛化加工費も8,500~10,000元/トン(19.77~23.26万円/トン)へと微増したことがコストを押し上げた。



出典：百川盈孚 (BAIINFO)

図3. リチウムイオン電池用負極材料のコストの推移 (2025年3月~2026年3月)

表1. 石油コークスの価格

製品別	価格 (元/トン)		
	3月1日	3月30日	増減幅
大慶石化 (1#A)	4,460	4,800	△340
錦西石化 (2#C)	4,270	4,520	△250
錦州石化 (2#A)	4,330	4,630	△300
撫順石化 (1#A)	4,750	5,080	△330

表2. ニードルコークスの生コークスの価格

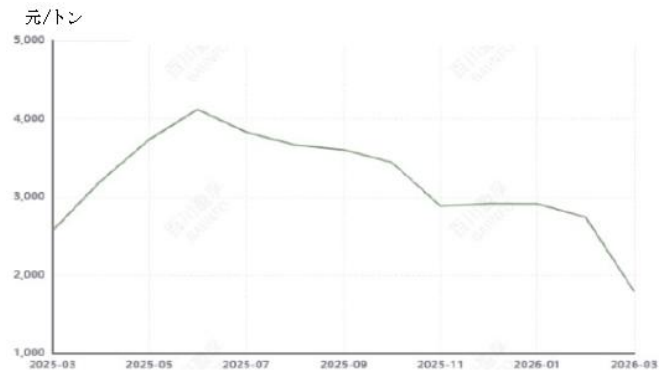
製品別	価格 (元/トン)		
	3月1日	3月30日	増減幅
石油系 NC	5,895~6,500	6,661~7,500	△883
石炭系 NC	5,800~6,500	7,000~7,500	△1,100

CMI 株式会社

横浜市鶴見区鶴見中央2-12-30-105

TEL: 045-717-8575 FAX: 045-717~8683

原料価格の上昇により生産コストが増大した一方、販売価格は据え置かれたため、負極材料企業の利益は減少した。3月のリチウムイオン電池用負極材の1トン当たりの粗利益は1,796元/トン(約4.18万円/トン)で、前月から34.5%の大幅な低下を記録した。



出典：百川盈孚 (BAIINFO)

図 4. リチウムイオン電池用負極材料の粗利の推移 (2025年3月~2026年3月)

情報源：石墨盟